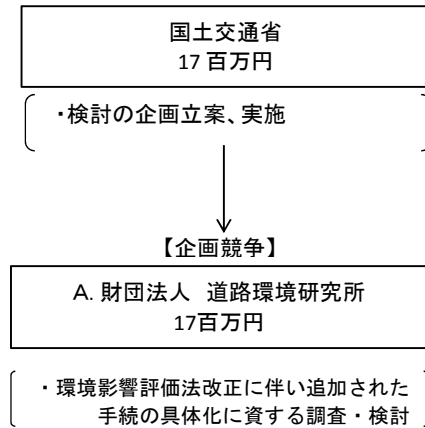


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	環境影響評価法改正に伴う道路事業における環境影響評価の検討業務		担当部局庁	道路局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23/H24		担当課室	環境安全課 道路環境調査室		室長 森本 励		
会計区分	一般会計		施策名	2-5 快適な道路環境等を創造する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境影響評価法		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境影響評価法は施行から10年を迎え、平成23年度改正された。改正に伴い、戦略的環境アセスメント[SEA]（配慮書手続）や事後調査報告書などの新たな手続が追加されることとなる。本施策は、道路事業においても追加されることとなるこれらの環境評価手続を効率的かつ円滑に実施するため、評価項目の設定や具体的な評価方法等の検討を行うものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境影響評価法の改正後、1年以内に基本的事項を公表、1年半以内に主務省令を公表、2年以内に法律が施行されることとなる。このうち主務省令は基本的事項を踏まえて主務大臣が事業の種類ごとに定めることとなっており、道路事業についても定めなければならない。このため、本施策において、配慮書手続、方法書説明会、事後調査等の進め方の方針を検討し、主務省令に規定すべき内容を取りまとめるとともに、新たな環境評価手続を効率的かつ円滑に運用できるようにするため指針等に盛り込むべき内容の整理を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	17	18	-	
		繰越し等	-	-	0			
		計	-	-	17	18	0	
	執行額	-	-	17				
	執行率 (%)	-	-	99.8%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	新たな環境評価手続の効率的かつ円滑な運用		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	道路事業における環境評価手続にかかる調査・検討を実施		活動実績		-	-	-	-
			(当初見込み)		(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	道路環境等対策費	18	-	-				
計	18	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	環境影響評価を担う事業として実施。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	道路に係る行政ニーズに効率的かつ効果的に対応するための基礎的検討を実施。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・当該予算の執行は国土交通省で実施しており、全ての支出先を把握している。 ・また、入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議いただいている。 ・平成23年度に、SEA手続として環境大臣意見の提出された先進事例の把握やその分析、検討等を実施し一定の知見を得ることが出来た。 		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-1013

※契約ベースにて作成



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.財団法人 道路環境研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	環境影響評価に係る検討業務	17			
計		17	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人 道路環境研究所	環境影響評価法改正に伴い追加された手続の具体化に資する調査・検討	17	1	99.9%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					